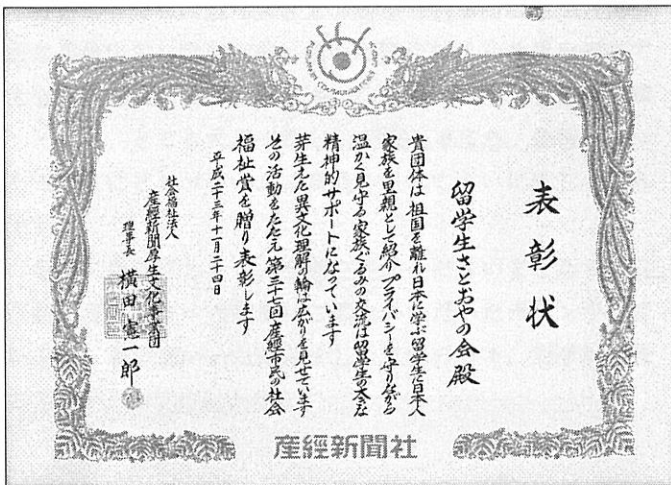


# 第16回 留学生里親・里子だより

●「留学生さとおやの会事務局」 〒540-8508 大阪市中央区森ノ宮中央1-6-20 (株) サクラクレバス内  
TEL: (06) 6910-8800 FAX: (06) 6910-8837

2012年3月発行

## 第37回産経市民の社会福祉賞 受賞!!



留学生さとおやの会は第37回「産経市民の社会福祉賞」を受賞しました。この「産経市民の社会福祉賞」(産経新聞厚生文化事業団主催、産経新聞社など後援)は、市民の方々の善意の協力が社会福祉に占める重要性を考え、これらの人々を表彰することによりその意義を社会に訴え、いっそう善意の輪を広げようと昭和50年に制定されました。近畿2府4県の自治体、団体などからの推薦と一般応募のあった候補者を対象に、学識経験者による選考委員会が審査し、毎年1回表彰が行われています。この度、関西国際交流団体協議会のご推薦をいただき、受賞することができました。

11月24日(木)大阪市北区にある新阪急ホテルで表彰式が行われ、幹事が出席しました。西村代表幹事に表彰状と賞金が授与され、表彰式の後には受賞者代表によるシンポジウムも開催されました。



## 交流遠足

(サントリービール工場・ミシガン琵琶湖クルーズ・石山寺)

今年の交流遠足は平成23年10月1日（土）に開催、バス1台で総勢47名、初秋の楽しい一日を過ごしました。

まず、長岡京市にあるサントリービール工場に向かいました。サントリーPR専任課長高畑様にビール工場の概略をお話いただいた後、2班に分かれてビール工場を見学しました。天然水と原料にこだわり、徹底的な管理のもと行われている製造工程を知ることができました。見学の後はモンドセレクション最高金賞受賞のプレミアムモルツの試飲をさせていただきました。2杯、3杯と飲んでほろ酔い加減の人も出現。CMで竹内結子さんがやっている美味しいビールの注ぎ方も教えていただきました。

いつまでも試飲を続けたい気持ちを抑えて、一路琵琶湖に。今回は京阪電気鉄道様のご厚意で琵琶湖遊覧船の「ミシガン」に格安料金で乗船させていただきました。その上3階の特別室ロイヤルルームを我々専用にご用意して

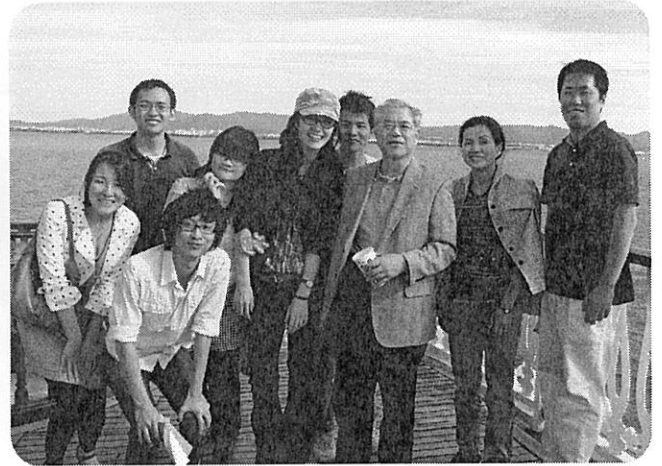
いただき、船内でもゆったりと過ごすことができました。琵琶湖の景色を眺める人、船内を探索する人、おしゃべりに興じる人、疲れをいやしてお昼寝をする人、みんなそれぞれに90分の船の旅を満喫しました。

最後には瀬田川沿い、紫式部が源氏物語を書いたとされる石山寺に行きました。木立の中のひっそりとしたお寺で、夕方の閉門時間間際と言う事もあり、貸切状態でゆったり、のんびり散策、拝観することができました。

あっという間に旅程終了、18時過ぎに大阪駅に到着、楽しい思い出を胸に解散しました。近いけれど、なかなか行けなかった琵琶湖への旅、贅沢に船にまで乗ることができました。ご協力いただきました皆様にこの場をお借りして、心よりお礼申し上げます。



サントリーモルツで乾杯



ミシガン船上にて



石山寺にて



留学生さんとおやの会 平成23年10月1日 於 大津港ミシガン

# 新年交流会

今年も恒例の新年交流会が大阪日本語教育センターに於いて、1月14日（土）に賑やかに開催されました。ボランティアの方々のご協力により留学生に着物を着つけていただき、留学生はあでやかな着物姿です。今年のアトラクションはとても盛りだくさんで、日本舞踊、マジック、リコーダー演奏、リコーダーとハーモニカの演奏で留学生を巻き込んだ「上を向いて歩こう」を合唱、お茶のお手前、留学生によるアフリカの踊りと中国の歌、尺八と琴の演奏と楽しい時間を過ごしました。合間には初めての試みで「留学生将来の夢を語るインタビュー」と題し、留学生全員に前に出て来てもらい、田仲さんの司会で今後の夢を話してもらいました。大きな夢を抱いた留学生、目がキラキラ輝いていて、とても大きく頼もしく見えました。最後はいつものようにビンゴゲーム。賞品を狙って大いに盛り上がりました。

最後になりましたが、会場を提供くださいました大阪日本語教育センターの皆様、ご協力いただいたボランティアの方々、お手伝いいただきました里親の方々、留学生の皆さんに厚くお礼申し上げます。



留学生勢ぞろい



ビンゴゲーム



尺八とお琴



リコーダーとハーモニカ



マジック



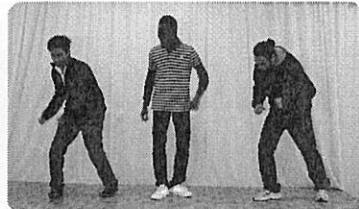
日本舞踊



中国の歌



アフリカの踊り



お茶のお手前

## [アンケートより]

☆今日の感想

おきもの初めて着せていただきました。  
ステキな企画でした。

名前 梅ハジ

☆今日の感想

本当に楽しかったです。  
またどうもありがとうございます。

名前 アイシャマル

☆今日の感想

とても地味で楽しかったです。  
おこしとしゃべりのおきものはいいです。  
でした。

名前 ティン クリ

☆今日の感想

とてもよかったです。  
おきもの茶道、おき、踊りを見たり、きいたりしてよかったです。  
思います。

名前 セリン キンゾ

☆今日の感想

きれいな着物をきた。  
おきもの楽しかったです。

名前 山本 夢

## 里子

西村家族の里子李イと申します。2006年10月に中国から参りました。日本の里親会について何も知らない私は偶然に大学で里子募集のチラシを見て応募。西村家族の里子になり、本当に運がよかったと思います。

里親会に参加してもう3年半になりました。振り返ると、里親の皆さんと一緒に楽しくて、愉快的日々を過ごしました。思い出の中で、毎月の食事は一番期待しています。お母さんからの日本料理はもちろん、韓国、タイ、フランス、中国などの里子は自国の有名な料理を作っています。あまり外国料理を食べる機会がない私たちにとって、毎回の食事を楽しみにしていました。料理が下手な私は皆さんの助けのもとに、中国のオリジナル水餃子を作りました。初めて餃子を作る緊張感と餃子ができた時の喜び、今でもはっきりと覚えています。

大学の勉強とアルバイトで、忙しい毎日を送っている私ですが、留学生里親会のおかげで、年一回の新年交流会と遠足には参加しています。新年交流会の時、着物の体験をしながら、伝統的な日本風のパフォーマンスも見られます。優しい里親と各国の可愛い里子と一緒に集まって、それは本



当に何も考えず、気分転換ができる楽しい集まりの会だと思えます。

一人で日本へ留学しに来た私にとって、一番大きな収穫は里親との出会いです。里子の私はいつも嬉しいことも困ることもお母さんに報告し、たくさん積極的なアドバイスをいただいて、自分の留学生生活を豊かにしています。お父さんとお母さん、そして家族の皆様はいつも私のことをいろいろ助けてくれて、心から感謝しています。

もうすぐ日本の会社で就職する私ですが、今後の素晴らしい将来は自分の努力で創るべきだと信じています。中国の両親と日本の里親の期待に背かないように、これからはもっと頑張らなければならないです。最後に、千言万語は一言で、「お父さんお母さん、ありがとうございます。」



大阪市立大学  
李 瑋(中国)



## ワン・ワールド・フェスティバル

2012.02.04.~05.

今年も大阪国際交流センターで開催された「第19回ワン・ワールド・フェスティバル」に参加しました。今年には142団体が参加、17,000人の来場者があったそうです。2階の奥、多文化共生のカテゴリーの団体が並ぶ中にブースを置き、皆様からご寄贈いただいた品々を販売しながら、来場者された方々に我々の活動についての紹介をしました。とても寒い2日間でしたが、たくさんの方にお越しいただき楽しい交流をすることができました。

商品のご提供をいただいた皆様、当日お手伝いいただいた皆様、ありがとうございました。



## 編集 後記

今回、産経新聞厚生文化事業団様より産経市民の社会福祉賞をいただきました。連絡をいただいた時は本当にびっくりしました。当会も来年度(2012年)は発足して十年目を迎えます。地道に活動していると、見ている人は見てくださっているのだと、本当に嬉しく、活動を誇りに思った瞬間でした。

十周年記念を迎えるにあたって記念行事を計画しています。詳しくは決まり次第ご案内しますが、2012年度の対面の会と同時に開催の予定です。6月30日(土) ご予定くださいますよう、よろしく願いいたします。

これからも引き続きこの会が発展していきますように、活動にご興味のある方がいらっしゃいましたら是非ご紹介いただきますよう、よろしく願いいたします。

(事務局)